

「2026年度JPECフォーラム」開催のご案内

主催: **JPEC** 一般財団法人
カーボンニュートラル燃料技術センター

本フォーラムは、カーボンニュートラルに向けた革新的技術開発および海外の最新動向を中心にご紹介し、皆様のご意見を頂くことでJPECが進める技術開発事業をより一層効果的に推進することを目的として開催いたします。

✓特別企画では、【カーボンニュートラルの潮流と技術開発にかかわる動向】と題して、有識者の方々にご講演いただく予定でございます。

基調講演 杉山正和 氏 (東京大学 先端科学技術研究センター所長)

『カーボンニュートラルを実現する再生可能燃料・原料のグローバルネットワーク』

招待講演 Mr. Jean-Marc Sohier 氏 (欧州燃料製造連盟 CONCAWE Director)

『欧州輸送部門の2050年ネットゼロに向けた政策と動向』

招待講演 小山 堅氏 (一般財団法人日本エネルギー経済研究所 (IEEJ) 専務理事)

『激動の国際エネルギー情勢と日本の課題～中東戦争とエネルギー安全保障～』

✓口頭発表テーマは、『日欧燃料技術会議』『戦略的な取り組み・若手研究者育成事業』『次世代燃料』『製油所脱炭素化・プラスチック資源循環』『水素エネルギー』の5つのセッションからなる多岐にわたる内容となっております。

多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

- 開催日時 2026年5月12日(火)10:00～17:30
会場受付時間 9:30～
開始時間 10:00～

2. 開催方法

●開催方法

『ハイブリッド開催』(会場+Web配信 (Microsoft Teams))

●参加ご希望の方は、必ず事前登録をお願い申し上げます(事前登録のない方はご参加いただくことができません)。

※事前登録は、各会場毎の登録が必要となります(第1, 2, 3, 4会場それぞれについて登録が必要となります)

3. 開催場所

AP日本橋

東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント 6F

<https://www.tc-forum.co.jp/ap-nihonbashi/access/>

4. プログラム概要

10:00～10:25 主催者挨拶、ご来賓挨拶

10:30～12:00 特別企画

13:00～17:30 発表プログラム(各セッション)

●発表資料を、5月7日(木)頃、JPECホームページに掲載予定です。

●フォーラム当日は、会場での印刷資料の配布は行いません。

5. 交流会 17:40～

6. 参加方法

事前登録をお願い申し上げます。

※登録期限 5月11日(月) 12:00まで

JPECホームページの『事前登録はこちら』から登録ください。

第1会場 [JPECフォーラム\(第1会場\)](#)

※特別企画のみご視聴は第1会場をお選びください。

第2会場 [JPECフォーラム\(第2会場\)](#)

第3会場 [JPECフォーラム\(第3会場\)](#)

第4会場 [JPECフォーラム\(第4会場\)](#)

7. 参加費

無 料

お問い合わせ先

一般財団法人カーボンニュートラル燃料技術センター(JPEC)

JPECフォーラム事務局

TEL: 03-5534-5862 (企画調査部)

E-mail: 2026-entry@pecj.or.jp

《各会場毎のプログラムのご案内》

第1会場

【特別企画】(10:30~12:00) 【カーボンニュートラルの潮流と技術開発にかかわる動向】

カーボンニュートラル実現に向けた国際動向と技術開発の最前線を展望する。エネルギー安全保障と脱炭素の両立、再生可能エネルギーの役割、政策と市場の相互作用を多角的に検証、今後の戦略の方向性についてご講演いただきます。

【セッション1】 日欧燃料技術会議(13:00~15:20)

欧州燃料製造連盟のCONCAWE (Conservation Clean Air and Water in Europe)とJPECは、カーボンニュートラル燃料を含むエネルギー政策や関連技術の情報交換による技術交流を日欧燃料技術会議として、2008年から定期開催して参りました。今回はJPEC創立40周年を記念して、その第14回日欧燃料技術会議をJPECフォーラムのセッション1として企画しました。日本からは、経済産業省様から基調講演をいただき、自動車燃料利用団体のJARI/AICE様および産総研様からの三件、合わせて欧州CONCAWEの異なる分野の研究担当からの三件、計六件の製造と利用側からの特に輸送分野のエネルギー低炭素化に向けた最新のトピックスについて、日欧を対比しながら議論できる機会といたします。

CONCAWE of the European Fuel Manufacturers Association, and JPEC have been regularly holding the Japan-EU Fuel Technology Conference since 2008 to exchange information on energy policies, including carbon-neutral fuels, and related technologies. This time, to commemorate the 40th anniversary of JPEC's founding, the 14th Conference has been planned as Session 1 of this JPEC Forum. Total of six presentations will be lineuped three presentations from Japan, including a keynote speech from METI, and from JARI/AICE and AIST, and three presentations from the Science Executives of CONCAWE. This will be an opportunity to discuss the latest topics toward energy decarbonization, particularly in the transportation sector, from both the manufacturing and user sides, comparing Japan and Europe.

【セッション2】 戦略的取り組み・若手研究者育成事業(15:40~17:05)

福島国際研究教育機構(R-REI)「バイオ統合型グリーンケミカルプロセスによるCO2資源化」:バイオマス由来の原料ガスをカーボンニュートラル炭素の原料とし、再生可能エネルギー由来の水素も活用して有用なグリーン化学品(主に液体燃料)を得るプロセスの統合化に関する研究開発を報告します。

保安情報活用プラットフォーム構築技術開発:AI技術を活用し、事故事例等の保安情報を有効活用するための支援システムの開発状況を報告します。

若手研究者基盤研究委託事業:石油産業において次世代のイノベーションを担う人材を育成するとともに、新たな研究シーズを発掘するため、満40歳未満の研究者を対象に採択された、テーマの研究成果を報告します。

第2会場

【セッション3】 次世代燃料(15:30~17:30)

カーボンニュートラル(CN)実現に向け、バイオ燃料の導入拡大と同様に合成燃料の早期の実用化が期待されています。合成燃料とは、水素と二酸化炭素を原料として人工的に製造される燃料であり、製造コストの低減が大きな課題となっています。本セッションでは、エネルギー効率に優れた一貫製造プロセス技術の確立を目指して取り組んでいるNEDO研究開発事業の概要と成果について報告します。

第3会場

【セッション4】 製油所脱炭素化・プラスチック資源循環(15:30~17:30)

地球温暖化問題の深刻化に伴う世界的な脱炭素化の流れにより、石油精製プロセスにおけるGHG排出の大幅な削減に加え、石油製品の低炭素化による製油所の脱炭素化を実現することが求められています。

本セッションでは、令和7年度の経済産業省補助事業として実施した「製油所の脱炭素化研究開発事業」について研究成果を報告します。

第4会場

【セッション5】 水素エネルギー(15:40~17:10)

「2050年までのカーボンニュートラル達成」に向けて、有望なエネルギー源と期待されている「水素」の活用に関する、当センターの様々な取り組みを紹介します。

展示(ロビー)

- ・受託分析に関するパネルの展示(予定)
- ・受託分析に関する映像の放映(予定)

2026年度JPECフォーラム プログラム

《主催者挨拶・ご来賓挨拶》

10:00~10:10	主催者挨拶 一般財団法人カーボンニュートラル燃料技術センター 理事長 宮田 知秀(予定)
10:10~10:15	ご来賓挨拶 経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部長 和久田肇 様(予定)
10:15~10:25	ご来賓挨拶 欧州燃料製造連盟 Director General Ms.Liana Gouta

《特別企画》

特別企画【カーボンニュートラルの潮流と技術開発にかかわる動向】

10:30~11:00	●基調講演『カーボンニュートラルを実現する再生可能燃料・原料のグローバルネットワーク』 東京大学 先端科学技術研究センター所長 杉山正和氏
11:00~11:30	●招待講演『欧州輸送部門の2050年ネットゼロに向けた政策と動向』 欧州燃料製造連盟 CONCAWE Director Mr.Jean-Marc Sohier
11:35~12:00	●招待講演『激動の国際エネルギー情勢と日本の課題～中東戦争とエネルギー安全保障～』 一般財団法人日本エネルギー経済研究所(IEEJ)専務理事 小山 堅 氏

《発表プログラム》

【セッション1】 日欧燃料技術会議 13:00~15:20		司会 阪口貴浩(JPEC企画調査部)
13:00~13:10	セッション概要	山崎拓也(JPEC企画調査部)
13:10~13:35	【1】我が国における次世代燃料の導入促進に向けた取組について	資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備課 東谷佳織氏
13:35~13:55	【2】EU製油所におけるCO2回収技術による最適化検討	CONCAWE Mr.Johan Dekeyser
13:55~14:15	【3】自動車分野ネットゼロ達成には多様な選択肢(マルチパスウェイ)追及が唯一の解	自動車内燃機関技術研究組合AICE 北村高明氏
14:15~14:35	【4】EU域のSAF適用による航空機排出物(CO2以外)の低減による環境効果	CONCAWE Mr.Adrian Velaers
14:35~14:55	【5】船舶分野における代替燃料の評価	CONCAWE Mr.Abinash Ramasary
14:55~15:20	【6】合成燃料(e-Fuels)の環境価値(LCA)/経済価値(TEA)評価の国際標準化への取り組み	産業技術総合研究所 森本慎一郎氏
【セッション2】 戦略的な取り組み・若手研究者育成事業 15:40~17:05		司会 米田弘義(JPEC企画調査部)
15:40~15:50	セッション概要	山崎拓也(JPEC企画調査部)
15:50~16:05	【7】バイオマス誘導体の水素化脱酸素反応を指向した担持モリブデン酸化物クラスター触媒の開発	鈴木崇哲(埼玉大学)
16:05~16:20	【8】合成燃料を対象とした予混合火炎の特性に関する研究	松田大(九州大学)
16:20~16:35	【9】光誘起温度勾配制御型逆水性ガスシフトケミカルルーピングプロセスの創出	高見大地(京都大学)
16:35~16:50	【10】AI解析技術を用いた保安情報活用プラットフォーム構築	山崎拓也(JPEC企画調査部)
16:50~17:05	【11】福島国際研究教育機構(F-REI)「バイオ統合型グリーンケミカルプロセスによるCO2資源化」	米田弘義(JPEC企画調査部)

《発表プログラム》

【セッション3】 次世代燃料 15:30~17:30		司会 大野周之(JPEC合成燃料技術開発本部)
15:30~15:35	セッション概要	田畑光紀(JPEC合成燃料技術開発本部)
15:35~15:45	【12】合成ガスの高効率製造技術の開発～SOEC性能向上と劣化機構解明～	田中洋平(産業技術総合研究所)
15:45~15:55	【13】合成ガスの高効率製造技術の開発～SOEC劣化機構の解明～	高村仁(東北大学)
15:55~16:05	【14】合成ガスからの液体燃料への転換～FT反応熱の高度制御技術の開発～	望月剛久(産業技術総合研究所)
16:05~16:15	【15】合成ガスからの液体燃料への転換～高度選択性制御技術の開発～	永岡勝俊(名古屋大学)
16:15~16:25	【16】合成ガスからの液体燃料への転換～製造効率向上のためのテールガス改質の検討～	里川重夫(山梨大学・成蹊大学)
16:25~16:35	【17】合成ガスからの液体燃料への転換～計算科学的手法による解析～	石元孝佳(広島大学)
16:35~16:45	【18】FT合成由来液体燃料のエンジン適用性および実用性評価研究	葛岡浩平(産業技術総合研究所)
16:45~16:55	【19】ディーゼルエンジンの高効率化および低排出ガス化を図るためのe-fuelの高度化利用	柴田元(北海道大学)
16:55~17:30	【20】JPECにおける合成燃料の実用化に向けた取り組み～電解・改質、FT合成、燃料利用～	木濱寛史・渡邊治彦・網谷直樹・鈴木星哉 (JPEC合成燃料技術開発本部)

《発表プログラム》

【セッション4】 製油所脱炭素化・プラスチック資源循環 15:30~17:30		司会 森北 孝志(JPECプラスチック資源循環研究室)
15:30~15:45	セッション概要	上原淳(JPECペトロリオミクス技術研究室)
15:45~16:05	【21】処理原油成分リアルタイム予測技術開発	松本幸太郎(JPECペトロリオミクス技術研究室)
16:05~16:25	【22】機械学習を活用した石油系残油留分の高沸点成分外挿予測手法の開発	村上裕哉(静岡大学)
16:25~16:40	【23】ファウリング解析モデル開発	佐瀬潔(JPECペトロリオミクス技術研究室)
16:40~17:00	【24】バイオオイルと重質油の混合接触分解における生成物組成を予測する機械学習モデルの構築	嶋田五百里(信州大学)
17:00~17:15	【25】廃食油の共存下での直留軽油の水素化脱硫反応に関する研究	錢衛華(東京農工大学)
17:15~17:30	【26】国内外におけるプラスチックケミカルリサイクルプラントの状況と計画	高澤隆一(JPECプラスチック資源循環研究室)

《発表プログラム》

【セッション5】 水素エネルギー 15:40~17:10		司会 小林 拓(JPEC水素エネルギー部)
15:40~15:45	セッション概要	小出隆太郎(水素エネルギー部)
15:45~16:00	【27】大規模水素サプライチェーンの構築に係る水素品質に関する研究開発	小出隆太郎(水素エネルギー部)
16:00~16:20	【28】HDV用水素充填プロトコルの研究開発	今岸健郎(水素エネルギー部)
16:20~16:40	【29】水素社会構築に向けた鋼材研究開発	鈴木修一(水素エネルギー部)
16:40~16:55	【30】液化水素用設備に対するステンレス鋼製品の適用可能性調査	林郁孝(水素エネルギー部)
16:55~17:10	【31】水素ステーションにおける保安体制の適正化に関する調査研究	河島義実(水素エネルギー部)

第1会場

第2会場

第3会場

第4会場

2026年度JPECフォーラム【タイムテーブル】

	第1会場 (F+G) 10:00～17:05	第2会場 (A) 15:30～17:30	第3会場 (B) 15:30～17:30	第4会場 (C) 15:40～17:10
10:00	主催者挨拶			
10:15	ご来賓挨拶			
10:25	<p><特別企画> 【カーボンニュートラルの潮流と技術開発にかかわる動向】</p> <p>●基調講演:10:30～11:00 「カーボンニュートラルを実現する再生可能燃料・原料のグローバルネットワーク」 東京大学 先端科学技術研究センター 所長: 杉山正和氏</p> <p>●招待講演:11:00～11:30 「欧州輸送部門の2050年ネットゼロに向けた政策と動向」 欧州燃料製造連盟 CONCAWE Director Mr.Jean-Marc Sohier 氏</p> <p>○休憩:11:30～11:35</p> <p>●招待講演:11:35～12:00 「激動の国際エネルギー情勢と日本の課題～中東戦争とエネルギー安全保障～」 一般財団法人日本エネルギー経済研究所(IEEJ)専務理事 小山堅氏</p>			
12:00				
				13:00
				13:30
	【セッション1】 日欧燃料技術会議 (13:00～15:20)			14:00
				14:30
				15:00
				15:30
				16:00
	【セッション2】 戦略的な取り組み・若手研究者育成事業 (15:40～17:05)	【セッション3】 次世代燃料 (15:30～17:30)	【セッション4】 製油所脱炭素化・プラスチック資源循環 (15:30～17:30)	【セッション5】 水素エネルギー (15:40～17:10)
				16:30
				17:00
				17:20
				17:30
		交流会 17:40～19:40		19:40